

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

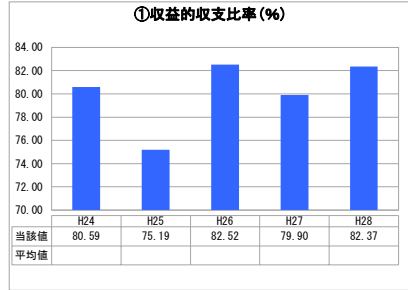
茨城県 かすみがうら市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	12.52	82.17	2,480

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
42,701	156.60	272.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,326	2.93	1,817.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



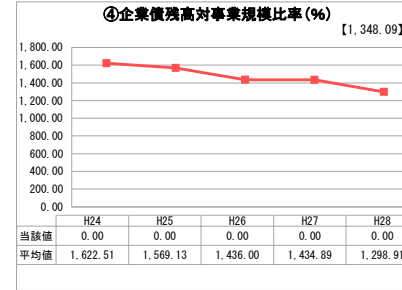
「単年度の収支」



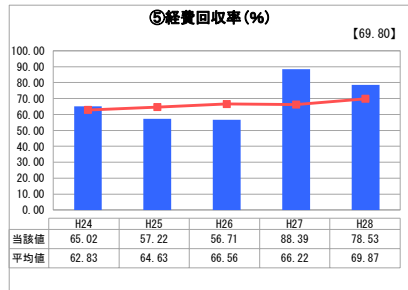
「累積欠損」



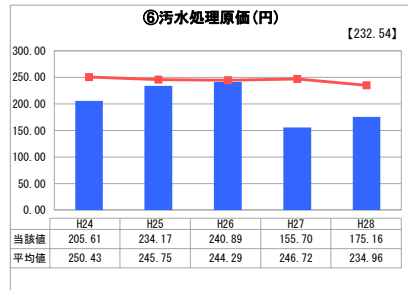
「支払能力」



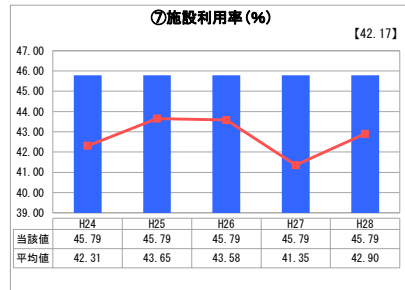
「債務残高」



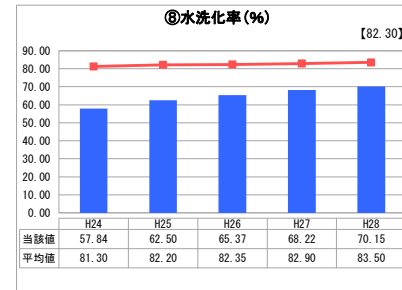
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

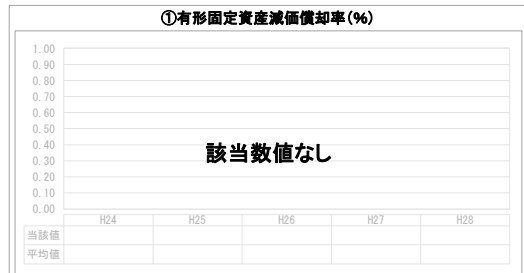


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

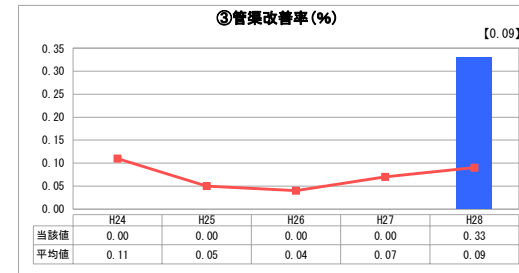
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

【①収益的収支比率】総費用が毎年同額を推移している中、企業会計への移行により資産台帳整備費用が増えております。また、総収益が加入世帯の増加により少しずつ増加傾向にあります。平成25年度が75.19%に下がっておりますが、補償金免除繰上償還額が、費用に含まれていることで一時的に下がっているものです。

【④企業債残高対事業規模比率】起債残高は少しずつ減少しております。起債償還について使用料で賄えない部分を一般会計繰入金で賄っていることから数値が0%となっております。今後も、計画的に起債を行ってまいります。

【⑤経費回収率】使用料収入は少しずつ増加し公営企業移行費用についても減少していることから、平成27年度から平均値を超えております。今後も費用の計画的な運用に努めてまいります。

【⑥汚水処理原価】昨年度までは修繕費等の維持管理費の増加により少しずつ上昇してまいりましたが、公営企業への移行費用等が減少した結果、汚水処理原価を抑えられたと思われれます。

【⑦施設利用率】類似団体平均値を上回っており、処理能力に対し有効に施設利用していることが分かります。

【⑧水洗化率】少しずつ上昇しておりますが、まだ類似団体平均値を下回っており、引き続き加入促進を行い、下水道接続率の向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

③平成元年の整備開始後29年が経過し少しずつ老朽化が進んでいるが、耐用年数を超えた管渠はないことから、緊急的な箇所について更新を行っているところであり、

現在は、ストックマネジメント策定に向けて調査を行っているところであり、策定後は、計画に基づき長期的に老朽管の対策等を行ってまいります。

## 全体総括

全体の数値を見ると、類似団体と比較して良い数値が出ており健全であることが分かります。

今後においては、管渠の老朽化が進んでいくことから、維持管理修繕工事等の事業費が増加してまいります。修繕計画に基づく費用、それらの財源（使用料、起債等）や、起債残高等のバランスを見ながら、下水道の目的である水質保全のため、計画的に下水道の維持管理を行ってまいります。

そして、収入の多くに一般会計からの繰入金に頼っていることから、引き続き加入促進活動を行い、下水道接続率を上げて、使用料の収益増を図り、繰入金の軽減に取り組んでまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。